

## VISION

- **妊娠、出産、子育ての各ステージのこども・子育て政策DXの推進により、保護者や現場の負担の少ない、子育てがより楽しく、安心、便利な子育て満足度日本一の大分県の実現を目指す。**

## MISSION

- **デジタル化により、窓口に行かず行政手続をオンラインで完結する環境を整えるなど、子育て家庭の手間や負担を軽減し、こどもと向き合う時間を増やしていく。**
- **デジタル技術を活用し、市町村や保育現場等の負担を軽減し、こどもや子育て家庭への支援にかける時間やエネルギーをできるだけこども政策の質の向上に振り向けていく。**

# こども政策DXの共同目標（概要）

## 1. 県内18市町村の共同目標の設定

- **県民の「暮らし」に密接に関わる「公共性の高い分野」のDX推進を強化し、計画的に取組を進めるため、「市町村DX推進会議」において、こども分野を重点分野として議論を開始。**
- 市町村ごとに異なるサービス水準を底上げするため、**全市町村での共同目標を設定し、取組を着実に推進**する。

## 2. 共同目標の内容

### 1. こども関係手続の電子化

- 一部のこども関係手続では、市町村ごとに電子化の進捗に差がある。
- 子育て世帯のさらなる利便性向上のため、子育て支援、こども預かり分野等の事務手続における電子化が必要

⇒ **R9までに関連18手続の電子化**

### 2. 保育所等のICT化

- 国はICT機器導入率100%を目指し、保育所等のICT導入や業務支援アプリの活用を推進
- 保護者や職員の負担軽減に向けて、保育所等のICT導入が必要

⇒ **R8までに公立施設ICT化率100%**

### 3. 保育業務施設管理PF及び保活情報連携基盤の導入

- 給付・監査等の保育業務について、自治体と保育施設等の中でオンライン手続を行うための基盤及び保活の情報収集、施設見学予約等をオンラインで可能とする基盤を国が整備し、令和8年度から全国展開

⇒ **R10までに導入**

### 4. 放課後児童クラブのICT化

- 共働き世帯の増加により利用ニーズが高まる中、保護者や職員の負担軽減に向けて、放課後児童クラブのICT導入が必要

⇒ **R9までに公立クラブICT化率80%**

### 5. 産後ケア事業のDX

- 申請の際の窓口での手続や、電話による空き状況の確認・予約など、産後ケアの利用には手間と時間がかかっている。

⇒ **R9までに申請事務等の電子化**

### 6. PMH（Public Medical Hub）の導入

- こども医療費等の各種医療費助成、予防接種、母子保健等の情報を迅速に共有・活用するため、国は情報連携基盤（PMH）を構築し、先行自治体で運用を実施しており、今後、全国展開の予定。

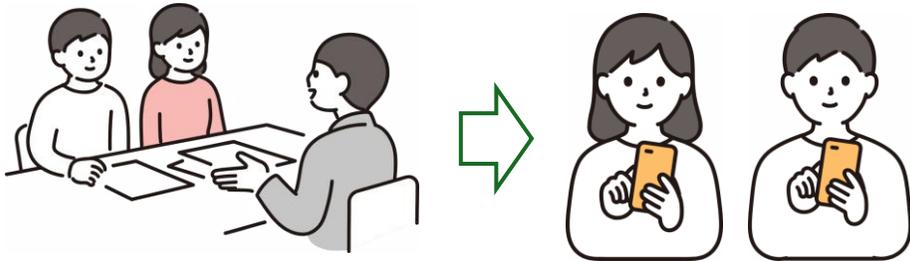
⇒ **R10までに導入**

# こども政策DX 導入イメージ

## こども関係手続の電子化

こどもを連れて窓口に行くことが負担

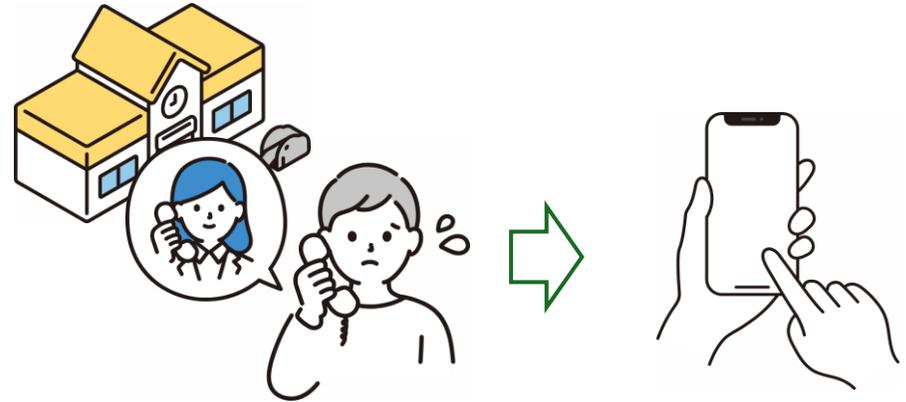
窓口に行く手間なし！  
こどもの手続きはスマホで簡単に！



## 保育所等・放課後児童クラブのICT化

紙や電話でのやりとりが負担

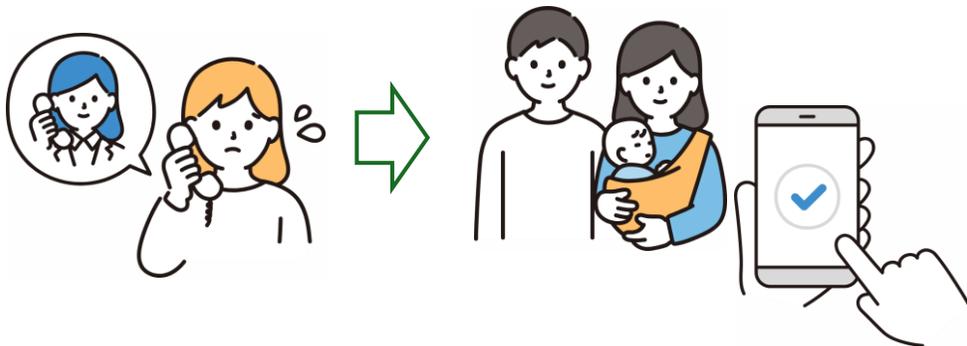
園・クラブとのやりとりを、  
スマホで完結！



## 産後ケアDX・保活ワンストップ

日中しか予約できない。  
空き確認も予約も、電話のみで負担

いつでも、申請も予約も、  
スマホひとつで！



## PMH (Public Medical Hub) の導入

### 【医療費助成】

受給者証、毎回持ち歩くのが面倒  
⇒こどもの病院受診は、  
マイナンバーカード1枚で！



### 【予防接種】

こどもの予防接種の予診票、毎回“手書き”が面倒  
⇒予診票は、事前にスマホで簡単入力！

